

40名ほどにとどまりましたが、このシンポジウムの宣伝活動の中で、大学との連携に熱意ある高校教諭らとの交流も深めることができました。

また、このCELプロジェクトを機会に交流が深まった横浜市立大学医学部と横浜国立大学による、「医工連携ワークショップ」が2005年3月17日横浜市立大学医学部において開催されました。60名を越す聴衆に対し、すでに医

工連携の実績をあげている研究活動例8件が紹介され、さらに両大学の医工連携交換講義などの教育活動について4人から説明と報告がありました。この「医工連携ワークショップ」では、通常回線を利用したハイビジョン中継も試みられ、ワークショップ会場の発表内容は、横浜国立大学総合情報処理センターメディア棟にて映像・音声も鮮明に受信しながら質疑応答ができました。



【医工連携ワークショップ】

上段：熱心に聴き入る両大学研究者ならびに学生

下段：(左) Stronach 横浜市立大学学長、(中央左) 小川横浜市立大学前学長、(中央右) 小川前学長のタイトルスライド「CELに対する私の想い」、(右) 白鳥横浜国立大学工学研究院院長

開会式の模様



## JSSUMEシンポジウムの開催

日韓姉妹大学機械系合同会議 (Joint Symposium between Sister Universities in Mechanical Engineering 2004) を、横浜市中区の山下公園近くにあるメルパルク横浜で、2004年8月25日(水)から27日(金)の3日間にわたり開催しました。日本と韓国の姉妹大学の機械系教員が集い、日韓交互に会議を開催してきました。今回は横浜国立大学が主催し、韓国の嶺南大学、釜慶大学と、日本の静岡大学および長崎大学の共催で開催しました。全部で82件の講演発表が行われました。今回はじめて Student Award Session を設け、分野ごとにもっとも優れた講演発表を行った学生の表彰を行いました。論文、講演とも英語であるにもかかわらず、活発な意見交換が行われ、参加者相互の国際交流が大いに促進されました。